

# 英語 楽しいよ

小・中学生対象、室蘭で8月教室



STPへの参加を呼び掛ける(左から)宮崎チーフと中澤サブチーフ、杉山サブチーフ

上智大学外国語学部英語学科の学生が、小・中学生に英語の楽しさを伝える教室「サマーティーチングプログラム(STP)」が今年も8月、室蘭市高砂町の海星学院高校を会場に開かれます。学生たちは知恵を絞って、手作りのテキストで分かりやすく教えてくれるそうです。「一緒に夏の楽しい思い出を作りたい」と参加を呼び掛けています。(林風蘭)

STPの活動は室蘭市のほか岩手県盛岡市など国内6地域とカンボジア王国シェムリアップの海外1地域で毎年同じ時期に開かれています。今年の実施は8月3～10日の日程で、7日を除いて開かれます。

今年も宮崎チーフ(左)

年(のほかに、杉山詩織、中澤佳祐両サブチーフ)とともに2017～2018年の24人が室蘭を訪れ、8グループに分かれて授業します。

遊び、ダンス、料理…上智大生が「先生」

午前中は早口言葉や、映画タイトル、道案内など、英語と合わせて欧米の文化も学べます。午後はダンスを楽しんだりの体育、クッキングなどから選べます。

2年間の留学経験がある杉山サブチーフは、海外で実際に英語を使おうとすると最初は全く会話ができません苦労したそうです。「そこから日本の大学受験のための英語教育に疑問を感じるようになった」といいます。

メッセ教育総合研究所の「中高生の英語学習に関する実態調査2014」では、多くの中高生が社会での英語の必要性を感じている一方、半数近くが「英語を使うイメージ」に対し「英語を使うことはほとんどない」と回答。普段の英語教育での、実践の少なさを浮き上がります。

STPでは楽しい授業で英語に親しんでもらうとともに、全て英語で授業する「オールイングリッシュ」で、英語を自然と話せる雰囲気をつくるそうです。

学生の年齢が子どもたちと近いこともポイント。休み時間に鬼ごっこをしたりおんぶをしたり、親しむことを大切にしています。

自分の英語の発音に自信を持ってなくて、話すことが怖かったという宮崎チーフは「STPでは、参加した子どもたちが日に日に英語で話し掛けてくれるようになります。先生とひたひたにお兄ちゃんお姉ちゃん』の感覚で親しんでくれているのでは」と感じています。

中澤サブチーフは「幼い頃から英語を習ってきて、今では英語が好きです」と笑顔。宮崎チーフは「子どもたちが英語に親しみ、高校や大学で勉強を頑張るきっかけになれば」と期待しています。

参加費は保険料、教材費込みで3500円。各日とも午前9時～午後3時半。小学5年から中学3年生が対象です。申し込みは7月1日まで。各小中学校が窓口となっており、メール(stpmuroran2017@gmail.com)でも受け付けます。